

TEKUTEKUまちづくり企画

見沼田圃・浦和宿企画「見沼田圃と中山道浦和宿の景観探索散歩」

【日時】2005年7月24日(日) 10時～17時

【コース】(午前の部：見沼田圃の自然景観探索)

東浦和駅・見沼通船堀～鈴木家～見沼代用水東縁・川口自然公園・川口見沼自然の家(休憩)
～浦和暮らしの博物館民家園(休憩)～バスで浦和駅西口

(午後の部：中山道浦和宿の街並み景観探索)

浦和駅西口～浦和駅鉄道高架化事業、駅周辺再開発地区～高砂小学校～調神社～喫茶楽風ギャラリー～埼玉会館～玉蔵院～裏門通り～ロイヤルパインズホテル浦和美術館～ドミノマンション群～市役所会議室(意見交換)～Goodies Café(懇親会)

【参加者】井出幸人、大竹亮、笠原晃、梶川義実、加藤仁美、櫛間嘉徳、栗原徹、小島義則、小林正樹、小松よしひろ、佐々木康友、澤田容子、千川明、古澤智子、水谷晴子、宮本和宏、矢口晴美、矢作武信、行広謙三、四方田裕至、脇野真澄(五十音順) **コーディネーター** 古里実、土屋愛自、田中修、森山成久、針谷郁美(参加者26名うち午前22名、午後23名)

【参加者による評価】

(評価点の計算：A=5点、B=3点、C、D=1点とした平均値)

見沼田圃の自然景観探索～午前の部

1 見沼通船堀 (AAAAAAAABBBBBBBBCCCC)【3.53】



見沼通船堀



見沼通船堀石碑

きれいに掃除され、良く管理されている。鈴木家の附属屋と船の1/2模型を見ることができてラッキーでした。

江戸時代にこのような仕組みの運河が作られていたことはすごい。

通船堀だけでなく、鈴木邸を含め歴史的に優れていると思う

歴史を知ることができておもしろい。鈴木家では、通船堀の仕組みや船の模型を見ることができてよかった。

遺構等整備されており歴史を感じることができる。

当時の様子が忍ばれるように残っており、好ましい。

水と緑が残る産業遺産。自然と調和した営みが伝わってくる。

歴史を感じさせる田舎の風景にほっとした

竹林は風情があってよい。デッキが木製であればなお良いと思う。

竹林が涼を感じさせる。水辺の景色は心和ませる。

素朴なままの造りで、当時の生活の中で使った様子が想像できてよい。

昔の人はこうやって船を通していただと思うと、そのづくりに感心しました。

閘門開閉式を是非見に行きたいです。高低差は3mもあるようには感じませんでした。

通水実演を見てみると、もっと理解が深まると思った。

実際に動く模型などが現地にあると、子供にも分かり易くて良いと思った。

イベントのときに来たかった。

水が少ないのが残念でした。8月31日は予定があり残念ですが、閘門の開閉は是非見てみたいです。

周辺の住宅とのかかわりがよくわかりません。

年に一度ではなく、他の施設とからめた観光スポットとして活用が必要。周辺整備も進めており、費用対効果が低すぎるのではないか。

通船堀の遺構は近年かなり整備されているが、芝川も含めた景観上まだ工夫の余地があると感じた。

通船堀公園の竹林は素晴らしいものの、堀自体の整備は今一つである。

休憩所が必要。周辺を草刈する等の美化が必要。

所々に休んでコーヒーなど飲める場所があると、何かが変わりそう。

2 見沼代用水東縁の風景 (AAAABBBBBBBBBBCCCD)【3.00】



見沼代用水東縁風景



芝川風景

首都圏近郊地帯の自然風景としては出色。芝川第一調整池の完成時にさらに水辺の風景が加わりより豊かな風景になることを期待。

いく時か前の歴史的風景の残る空間・・・大切にしたい。

用水沿いの柵が偽木で残念だったが、遊歩道の途中に見沼通船堀があり、ただ歩くだけでなく、自然と歴史を楽しめて良かった。なかなか普段では見ることのない自然を感じられる風景だった。

地図上で見るより、ずっと見沼田圃の広さを感じた

久しぶりにこういう風景を見て、のどかでなつかしくなりました。やはり田より畑のほうが目立ちました。

見沼田圃の中でも、自然の原風景を感じる。

原風景が残っており、のどかない感じだった。

田園風景の中に荒地が混じっているのが残念です。欲を言えば田圃がいいです。稲穂が波打つ風景は心休まります。米の自給率が気になります。

マンションがランドマークのようにそびえているのが気になったが、広大な緑の風景は見事だった

東縁に立つマンションが景観を乱している。サイクリングロードも風情に欠ける。

耕作放棄地が見られるものの、気持ちのよい緑の空間である。

用水路に沿っての散策はあまりしたことがなく、田んぼに水を引くための用水路の確保の大切さが実感でき、面白かった。でも、延々と続く平地に、二棟不釣り合いに高く建っているマンション(?)の存在はやはりいただけない。

開放的な風景は気持ちがいいが、水田が少なく、荒地や施設用地が多いのが残念。

川口市側に建つマンションとさいたま市の清掃工場が少々残念だが、緑が広がっていて良いと思う。

市街化区域側の戸建て住宅や高層マンションが目につき、景観上の不調和を感じた。

一棟抜き出たマンションが、周辺の長閑な景色を台無しにしている。

川口側と浦和側で随分雰囲気異なるように感じました。また、緑の中の高層マンションが気になりました。

見沼代用水という歴史性が感じられない。2棟のコンクリート建物は景観を壊している。

思ったより田圃が少なく、高層マンションも建つなど、原風景が失われつつあるのでは。

墓園開発や荒地へのゴミ投棄が気になりますが、全体には良く緑が残っています。やはり畑より田圃が見沼に合います。

不法投棄、用水側道の貧弱さが目立つ。

車の不法投棄。マンション建設。緑の保全が乏しい。

3 川口自然公園 (AAAAABBBBBBBBBBCCCC)【3.00】

釣り客や子供などがいて、自然に触れ合える場所が整備されていて良いと思いました。
子供から大人まで多くの人が公園にきていてにぎわっていた。
親子連れで釣りをしていたり、市民が憩うには最適。
市民の憩いの場となっており、馴染んでいた。
暑い盛りで利用者が少なくあまり様子がよく分からなかったが、湿地を囲んだ公園は、ザリガニ採りや釣りができたり、ちょっと他の公園とは違う楽しさがあるように見えた。
湿地を活かした公園整備を評価。
砂漠の中のアサシ的存在。川口市であるのが残念
次第に、徐々にピオトープ化していくこと期待する。
よく管理された公園だと思った。
身近で自然に触れられるのが良い。
あまり手を加えていないところが良い。一休みたかった。
木製の通路が自然の姿をとどめようとしていることを感じました。自然公園とは離れますが、市民農園を見たときに、使われていないと「捨て場」となるというのは残念ですが印象的でした。
親水的な憩いの場として最適である。池が汚れているのが気になる。
少ししか見られなかったが池の水の汚さが気になった。
公園だけでなく、道沿いにもベンチがあると歩きやすいと思います。
よくある公園という感じ。
規模、内容等に特徴がない
公園としては普通だが、見沼田圃らしさが良くわからなかった。



川口自然公園入口

4 川口見沼自然の家 (AAAAABBBBBBBBBBCCCC)【3.21】

日本の木造の家の涼しさを実感。昔の農家の造りが体感できて、よい。ボランティアの方々の地道な活動ぶりを垣間見、こういう活動が全国に広がると、自然保護も進むのだろうと思った。ここで野鳥を観察してみたい。
古い民家を活かしたホッとする空間。
ああいうところでかき氷を食べたいです。どんな鳥が見られるのでしょうか？
ふるさと回帰する時代の証人・・・なかなか良い空間。
土の庭と古民家は涼しい。早起きして散策を楽しみたい。
雰囲気の良い場所であった。
隠れ家のように驚きました。
博物館のように整えておらず、生活感があってよかった。
かつての生活が感じられる。守っている人がいるのは素晴らしいこと。
NPO法人運営という管理方法に関心。見沼保全の目指すべきひとつのあり方ではないかと思う。
NPO会員による生態系保存活動の拠点となっており貴重な施設。
NPOの皆さんが管理している点を評価
目新しいNPOの取り組みである。
前回行った時は寂れている印象を受けたが、今回は開放されていてよかった。趣のある印象を受けた。
その場所での「暮らし」が見えませんでした。萱葺の屋根の断熱効果を改めて実感しました。
入口がわかりづらいので東縁側に設けたほうがよいのでは。散歩やサイクリングをする人にとっては、ありがたい休憩所だと思う。
古民家があるだけという感じ
民家をただ残したという感がある。
ボランティアの方が管理しているのが良い。水が使えると休憩所としてもっと活用されたいと思います。

5 浦和暮らしの博物館民家園 (BBBBBBBBBBBBBBBBCCCC)【2.05】

昔ながらの土間付の民家が保存されていて、なつかしくなりました。昔の家なので夏向きで涼しいと思

いました。

古民家は風が通り、本当に心地よかった。蓮の花もきれいだった。

テーマパークとしての展開が広がりそう。

移築された建物の周囲に外構を施せばもっと昔の雰囲気がでていいと思った。

とても暑い日でしたが、移築された建物内部は涼しく快適でした。おせんべいを実演販売していただくと、なお良いと思います。

広くて施設も立派。しかし、旧家はできれば現地で保存し使い続けたいものだ。

コンクリートの敷地の中に民家が点在。本当はその地で生き続けてほしい民家が最低限保存されているという印象。工場地帯にぽつんとある施設にこれ以上望むのは酷でしょうか。煎餅屋関係の展示が多く、煎餅のおみやげ を売ればよいのにと考えた。木の家は涼しいとここでも実感。蓮が満開で美しかった。高野煎餅などお土産で買えるようにしてほしい。見沼の道の駅として再整備すれば、もっと来訪者が増えると思います。

せっかくの農具が民家に放置されているのが残念です。せっかくの農具が生きていません。展示館ではおせんべい屋さんのことがありましたが、それぞれの民家の中で生活を再現できないでしょうか。施設自体はいい。だから何をしたいのか？さいたま市にとってあの施設の活用策が伝わらない点が課題。昔あった建物を見ることができるのでおもしろい。バスや車でしか行けないところにある点もつたいない。

建物は風格があるが、川口見沼自然の家に感じられた「暮らし」がない。

民家を保存しているのは非常にいいが、周辺の市街 地との関係が希薄。

幹線道路沿いにあるのが残念。自然公園、自然の家、フルーツパークなどとネットワークのように繋がっているといいのだが。

見沼の展示を充実した方が良いのでは。

日曜なのに入場者はちらほら。設立趣旨から困難だとは思いますが、博物館機能のみでなく見沼にあるという立地条件から見沼との関わりをもう少し持たせてはどうか。

立地的に、市街地から遠く離れすぎているように思う。

民家園内にある建物は、本来あった場所に保存すべきと考え厳しい評価を敢えてつけた。

展示物が物足りない

移築物を雑然と集めただけでコンセプトが伝わらない。

展示が少ないと感じた。

昔の農具が、民家に放置（！？）してあったが、あのままではぼろぼろになるのでは？



浦和暮らしの博物館民家園入口から

6 見沼田圃全体の印象（AAABBBBBBBBBBBBCD）【3.11】

都心に近いところに、こんなに田畑や沼地が残っていることにまず驚きました。しかも、そのまま放ってあるのではなく、散歩道や公園として整備してあるので、今後もっと活用されるといいと思いました。自然あふれる景色でよかった。今後、景観面からも重要なテーマとして保全や整備を行っていかねばならないと思った。

タイムスリップをしたかのような、竹やぶの小径が良かった。

田圃は7%ということで、名前のイメージとかけ離れていることが寂しいが、いずれにしても次世代に残していきたい緑の空間である。

見沼田圃が、田畑、公園、市民農園、墓地、調整池等、様々な形態で利用されていることが実際に歩いてみて分かった。

全体としては、もっと子供たちのための利用のされ方があっていいのではないかと感じた。

首都圏近郊にこれだけまとまってグリーンベルトを保全しているのは貴重。見沼三原則など県当局の今までの姿勢に敬意を表したい。しかし、田圃とはいっても水田が少なくなり、畑や荒地、公園や学校、清掃工場など統一した印象に乏しいのが残念。

昔からあこがれていた見沼田圃は2度目ですが、少しずつわかりかけてきたような気がします。もう少し全体像を見たいですね。

見沼田圃はさいたま市の宝。長い目でみた活用策の検討必要。

荒廃している印象も受けるが、大宮方面に比べ自然が残っている気がするので、将来に期待が持てる。

人口集中地帯の大規模緑地空間としてきわめて貴重。しかし、反面車両の不法投棄が散見されるなど管理方法の困難さは改めて考えさせられた。

首都圏近郊にある貴重な緑地空間と謳っているわりには休耕地が多い。休耕地が減少するような施策を検討する必要がある。

田圃という割には水田が少ないが、緑が多く残っているので、周辺の建物等が配慮すればよりよくなると思う。

首都圏にあって、この規模の自然緑地には魅力を感じる。しかし、田圃としての利用が低い、不法投棄等の荒地が多い、また、調整池や自然公園が増えるなど、本来のイメージが崩れてきているように感じる。

土の上を歩くと風が頬に当たる、大変気持ちがいい。

首都圏にある大切な空間。いつの世も、常に、時代の1ページを刻み込むことの出来る創り込まないリザーブであることを望む。

街のすぐそばにこれほどまでに広大な緑が広がっていることは素晴らしいと思います。この景色を守るために努力しなければ...

緑が少なくなったとはいえ、東京近郊にこれだけ大きな緑地があって、日本は緑と水が豊富な自然に恵まれた国なのだなあと感じた。見沼地域のあちこちに捨てられている不法投棄のゴミは、たしかにゴミを投棄するのに恰好な場所だろうだけに深刻。一人ひとりの良識が基本だが、法律をもっと厳しくするしかないのでは、と思った。

今回は南側のごく一部を歩いたにすぎないが、もっと田んぼがあるのかと期待していた。調節池を活用し、田んぼ感を出して欲しい。

首都圏にこのような自然環境が残っていることに感動した。

都市に近接して、これだけの緑の空間が残されていることは素晴らしいが、田圃を復活させるなど、もっとうまく活かす方法があるように思う。

夏のこの時期でも、意外と歩けたが、やはり人は少ない。よく整備、管理されている部分とそうでないところとの混在が課題か。

見沼田圃地区の今後の土地利用はどうすべきだと思いますか？

立地条件を生かすなら、街に暮らしながら気軽に農業体験できる場所にすることや、自然を回復してさまざまな動植物と触れ合うことができる場所として再生するのが良いのでは。

基本的に開発抑制は継続すべき。農業継続放棄地はすこしずつでも公有地化し、市民農園、公園等で管理していくのが理想だが、もっともっと田んぼ自体の価値を行政としてPRしていく努力も必要ではないか。実は地元が見沼田んぼの価値を一番知らなかったりする。

広大かつ貴重な緑の空間である。農業後継者は今後とも少なくなる一方であり、荒れていくことが予想される。NPOや企業の参画、地権者への支援（補助や税の軽減）を行うことで残せたらと思う。

耕作希望者を募って休耕地を減少させる。その障害となっている制度を改める。

建築自体を制限するか若しくはスカイラインをキープする等の規制をしてはどうでしょうか。

せっかく整備してあるのに、夏休み最初の日曜日、もっと人が来ても良いのにもったいないと思いました。今後、団塊の世代が退職すると田舎暮らしをしたい人も増えるのでは、と聞きます。民泊や農泊のできる施設や市民農園を増やし、交流人口を増やすといいのではと思いました。

この地域の本来の成り立ちは農業用水＋水田であり、水田が1割を切った現在の状況は危機的ではないか。水田を復活し、都市住民が参加して米作り体験をしたらどうか。

個人的な重いですが、稲穂たなびく田圃が再現できるといいのですが。

今後の見沼田圃地区の土地利用としては、特に子供たちの遊び場として、あるいは子供たちが自然に親しみ学習できる場としての活用を考えていけたらいいと思う。例えば、見沼田圃全体を「エコミュージアム」として計画するなど。

田圃としての利用は確保すべき。

市民農園方式が双方にとって、良い方法だと思う。

あらゆる立場の人の参加と、そのあらゆる立場の人の責任・義務により保全・活用する。

未利用地は荒れてしまうため、開いてしまった土地で市民農園というのは良いアイデアだと感じました。

田圃にこだわる必要はないと思います。

田や畑を貸すのはよいと思いました。東京都近辺でこれだけの緑があるのは貴重だと思うので、野鳥を見たり、生物の観察したり、さいたま市の教育レベルからこの地区の重要性をアピールする（きっとされていると思いますが）、浦和の住民がいかにもここに価値を感じ、利用するかが鍵でしょう。緑を守りながらも、もう少し住宅が建てられてもよいと思えたのですが...(規制で建てられないのでしょうか) 水田、水生植物、釣りのできる池など、多くの市民が楽しめる空間すると良いと思う。

観光地化しない程度に、地元住民との関係性がもっとつくれないか？

やはり、田圃にするのが一番だが、農業としてではなく、環境という視点で、NPOなどを活用して、田圃を復活させるのがいいと思う。

行政、NPO、農家、企業、市民等多用な主体により、見沼の自然や農地、地域の歴史を親しめる大規模緑地空間として整備、情報発信していくべきだと思います。やはり畑は田圃に戻していくことを基本にしてはどうでしょう。

周辺の環境も含め、原風景を生かしつつ土地利用をすすめていって欲しい。

(参加してませんが、)さいたま市として魅力的な自然が残っている場所と考えるのであれば、農地としての活用の徹底、自動車交通の排除及び計画的誘導、更には見沼田圃へのアクセスの向上(LRT等)等を検討すべきだと思います。

中山道浦和宿景観探索散歩～午後の部

1 浦和駅周辺再開発地区(ABBBBBBBBBCCCCCCCCD) 【2.10】

浦和の地域性にあっていいのか疑問をもつが、これから駅周辺の開発によってどう人の流れが変わり、街並みが変化するのか興味深い。

再開発と一体化した都市計画道路(田島・大牧線)が開通し、鉄道の高架化が進めば整然としたまち並みになると思う。

コルソは再開発を担当していたときに見に来ました。懐かしいです。駅周辺が活発に動いていることを感じました。超高層住宅の遠景は結構いいと思いました。駅周辺の商店街はなかなか面白い。

今の浦和駅西口の駅前広場は、特に大きな問題は見受けられず、規模や駅前の風景も心地よい。再開発されたならさらに魅力的な駅になると思う。

裏道が楽しい。住宅地と繁華街が徒歩で連続している感じがよい。

以前川口駅周辺を、きれいに整備されているけれど、裏道を歩く面白さやおいしそうなお店がない、と思ったのに対し、浦和駅は、裏道もおいしそうなお店や隠れ家的お店の存在もあって、とても面白くなる可能性があると思いました。浦和レッズのサポートというお祭りの要素もきっと強みでしょうね。

東口は途中段階であるが、賑わいが創出されることを望みます。

県都・政令市の玄関として活気にあふれたまちとなることを期待する。

駅前の歩道が狭いように感じました。駅前広場がもう少し広くなるのでは。

鉄道を高架化してグランドラインベースで東西が歩けるようになるのが良い。大宮駅や新都心駅のデッキのまちに対抗して、ヒューマンな駅前地区になることを期待します。

駅周辺を次々に再開発しているが、すべてが再開発されてしまうと、自然発生的な街の魅力が失われてしまうと思う。

役所から駅に向かって歩くとランドマークになっていたが、面白みに欠けるのはどうしてだろう。

どこにもある駅前の風景。エイベックスタワーのデザインがいただけない。

新旧の街が、もう少し自然な形で融合できると良いと思います。なんとなく違和感を感じました。デザインのせいかもしれませんが...

開発地区周辺と違和感がある。特に、1、2階部分のデザインがマッチしていない。

南北の密集地区に挟まれる形であり異質な感じを受ける。

超高層ビルの低層階の商業テナントの不振が象徴するように、整備されすぎた空間は逆に人を遠ざける気がした。

また味気のない町が出来た。

小さな駅前広場と中層建築の伊勢丹+コルソは、住宅都市にふさわしいヒューマンな駅前を創っている。コルソ裏の商店街は楽しい。新しい南側の再開発は街になじんでいないようだ。

(西口)住宅系の再開発に補助金を出すというのは個人的には納得できないが・・・

(東口)キー店舗がパルコ、シネマコンプレックス等で大丈夫なのか不安。

再開発が散発的に行われている印象を受けた。景観への配慮も含めた計画的な誘導ができればと思います。



浦和駅西口周辺航空写真

2 調神社周辺(AAAAAAAAAAABBBBBBBB)【4.20】

昔から存在する神社をしっかりと護った空間で、自然も豊かで非常に良いと思います。

駅近くの緑の豊富な神社と、数少ない中山道沿いの歴史的建造物は、残していきたい貴重な資源であると思う。

細かい路地も残っており、懐かしい感じがした。この地区はこのままにしておいて欲しい
駅から近い場所に緑と歴史が息づいているのが貴重だと思う。

神社と公園とで一体的な空間が形成され、街に潤いをもたらしている。

街中にある神社として大事にしたい風景。

浦和の歴史の原点を感じた。

住宅が多い中でも歴史自然と静けさがあり、落ち着きを感じる。

中山道から見ると圧倒的な緑のボリュームなのがよい。
調神社の自然環境と周辺の住宅地の関係がとてもいい。
ここに住んでいる方は歴史と自然と都市的な雰囲気が味わえてうらやましい！

鳥居がないため、公園から神社が一続きなのが楽しい。
静寂で良い。

神社と連続した公園はいいと思います。街中の鎮守の森はいつ行ってもホッとします。あまり神社と一体的な計画では神社に偏りすぎるのでしょうか。結果としてここからリタイアになり失礼しました。

こまうさがかわいらしかったです。祭りの日だったので活気がありましたが、普段はどうか気になりました。
調神社は、歴史と今の生活感が溶け合い、ふつうの神社とは一風違った、神社と公園が混じったような、親しみと落ち着きがある居心地のよい空間に感じた。（お祭りだったから？）七不思議をもつオリジナリティのある神社というのもうなづける。駅から浦和調神社に至る飲屋街、学校、住宅地も、とくにへんてつはないが、歴史と文化を感じ、好印象。楽風ではお茶が飲めなくて残念。階段途中が床の間のように活かされていたり、とてもセンスがよさを感じる空間でした。

神社へのアプローチを工夫すればさらに良くなる。

” つきのみや ” という呼び方が美しい。公園は地元で愛されている感じを受けた。「浦和青年の家」が、お祭りにもかかわらず、十分使われていないように見受けられた。
立地は最高なので地元の活動の拠点や、ちょっとお茶を飲めるような場所になるといいかもしれないと思った。
歴史を感じさせる神社の緑が良い。近くの中山道沿いの古いお店の納屋を活用した喫茶店・ギャラリー（楽風）のような資源活用型のお店が増えうることを期待します。

駅から徒歩圏内で深い歴史を持つエリアが当たり前のよう住宅街に混在しているのが印象的。逆に中山道側がもう少し歩行者に優しい空間として整備されるとよりよくなるのでは。

ウサギが特徴的であり、雰囲気が良い。神社周辺がもう少し趣を感じる通りであれば良いと思う。

市街地内にある緑豊かな神社。鳥居の無い神社として有名であり浦和駅周辺の観光ルートとしてもっと紹介すべき。

ウサギがおもしろい。

落ち着いた住宅地。旧中山道の町並み整備に期待。



調神社での説明風景



青山茶舗と浦和祭りの出店



青山茶舗の納屋を改造した
喫茶楽風2階ギャラリー

3 玉蔵院、裏門通り周辺 (AAAAAABBBBBBBBBBBBC)【3.53】

玉蔵院の雰囲気を壊すことなく、きれいに整備されていると思った。

調神社から中山道を通り玉蔵院までのルートは、回遊性が高い。途中のコミュニティ道路も心地よく、洒落た店舗が数店あればもっと賑わいも高まると思われる。

道路の舗装や寺社の景観、緑がマッチしていて風情がある。

道は細いけれども、こぎれいな感じで良い雰囲気だと思います。

ホール、図書館など公共的な施設が並ぶ玉蔵院の前の通りは、落ち着いた佇まい。

玉蔵院、浦和女子高校、図書館とまさに歴史と文化の香りのする公共の通りでした。

緑があって歩いていて気が和む

往事の中山道の雰囲気を感じる。

歩いて楽しい空間。

前面の中央公園とつながった風景。

歩道が整備され、歩行者にも優しい道作りがされていると思う。もう少し歩道幅が広ければなお良い。旧中山道から玉蔵院へ通過できるようにすると、気持ちの良い通路になると思った。

いい散歩道です。公園に中にある赤い建物が浮いていました。残念です。面白そうな店もありました。

浦和宿の様子が残っているような、ないような。

道路と従前の建物との関係がいい。新たなマンションと道沿いの施設を如何に関連づけて行くかが今後の課題？

玉蔵院前の道路は歩道が狭くあまり安心して歩けない。中山道から玉蔵院へのアプローチが門扉によって遮られているのも残念。

中山道から一步はいった道をモール化し、玉蔵院の緑を加え豊かな空間となっていた。車の抜け道になっているのが残念。

玉蔵院前の道路は全面カラー舗装なので歩道かと思っていると車が双方向で走るため、歩いていて結構危ない思いをした。

興味をそそる店がある。

浦和の最も PR したい場所。

現行通行不可になっている参道を通行可にすると寺院としての一体性が出て良いと思います。人の集まる空間となる可能性を秘めている場所だと思います



玉蔵院枝垂桜



玉蔵院周辺道路



裏門通り

4 ロイヤルパインズホテル周辺 (ABBBBBBBBBBCCCCCD)【2.33】

ホテル、美術館、商業施設がうまく複合しており、中を通りぬけたくなる施設だった

ロイヤルパインズホテルの建物は、美術館があり通り抜けもできる公共性の高い建築。

特に何か感じることもなかったが、ホテルでの食事や買い物を楽しむこともできて良いと思う。整然とした空間である。

印象的に特にならない。

きれいだけど無機質なイメージがある。

ロイヤルホテルの中から通りが見え、地下にもショッピングがあるので1, B F が公共空間と一体的に感じがした。

ホテル内や周辺におしゃれなショップやレストランが点在し、魅力的な界隈となっている。
有機野菜のお店（都内よりずっと安い！）とかパン屋さんとかおいしそうでしゃれたお店が揃っているのがポイント高し。やはり旧浦和市役所一帯だけあって、区画も大きくて高級感があります。
ホテル裏側のとおりにケーキやなど少しこじれた店ができつつあるのが今後の通りの魅力を増大させる可能性を感じさせた。こういう裏道に魅力的な商店を誘致できないものか。
ケーキ屋、自然食品の店、イタメシ屋等、小洒落たお店が少しずつ増えてきた。
ホテルの向かいにある市民会館の影がとても薄く感じられました。この周辺はしゃれた雰囲気とても良いと思います。
通りぬけのできるところがいいが、通り抜けに外部空間的な演出があってもいいのでは。
本陣跡地や市場通りなどの地域資源の存在感が薄い。
ホテルの隣接地に公園が欲しい。
何も市役所の跡にホテルを建てなくていいと思う
この場所にホテルというのは唐突な感じであり、やはり駅前にあるべき。
旧中仙道はいつもとは違うハレの場だったのでしょか。
祭が開催されていたため、人が集まり活気があり、賑わいがあった。
特に一階部分が非常に魅力的な空間になっていると思います。もっと地域に開くような形になっていればと思います。

5 ドミノマンション（AACCCCCCCCCCCCCCCCCC）【1.40】

景観面からも、住んでいる人の生活面からも好ましくない状態である。自分が住みたいとは思わない。
住まいを購入する場合、将来的な居住環境も考慮しなくてはならないといういい見本です。制度的にも今後検討しなくてはならない重要なテーマだと思います。
実際に住んでいる人の満足度や空室率などを知りたいと思った。環境は最悪だが、立地や広さの点から、満足といわないまでも納得して住んでいる人が結構多いかもしれない、とも思った。
道路が狭隘すぎる中で、マンションが乱立しすぎている。
旧市役所一帯を抜けると突然ドミノマンションが広がるんですね。神社の御輿置き場用の小さな空地がオアシスに思えるほどの乱立ぶり。浦和だけでなく他の町にいくらでも起こり得る問題でしょう。
中山道から見ると巨大な壁であり景観上も問題だと思う。
見た者にも圧迫感を与える。
次々に日照と眺望を奪っていくドミノマンションは、エゴがむき出し。
よくも悪くも行政の限界を感じさせる。こういった立地のマンションの需要がなければ建設ラッシュもおきない。つまるところ住民の意識の問題では。
迫力がありました。都市におけるゆるい規制が引き起こす「都市的風景」としては絶対の事例です。最初に建てたマンションを購入した人達は、そのマンションが周辺に与えた影響と同じように、南側に同じようなマンションが建つことは想像もつかないのでしょうか。
よくないと思うが、都市部は往々にしてあんなものだ と思う。後は購入者の熟度次第でしょう。
ディベロッパーは早い者勝ちで売り逃げし、購入者は遅い者が早い者の日照、眺望を奪い、享受する構図。市場の失敗の原因は、商業地域を過大指定しマンションを認める都市計画行政と、「当面は日当たり良好」と言って売り逃げするディベロッパーと、その意味を理解できずに購入してしまう居住者の3者に有ると思う。
寝に帰るだけだとしてもあんなに近いのは住環境としていかなものなのでしょうか？最近戸建ての間隔も狭いものが多いように思います。
ドミノマンションに限らず、ゆとりのある建築設計が必要と思われる。
短期的な経済性を追求するとこのような空間ができるという見本。長期的には地域の価値が落ちることは明らかであり、何らかの規制が必要。
市場経済に任せると街がどうなるかの悪例。街区単位での計画誘導を考えるべき（沿道型・中庭式配置など）。
旧宿場町の敷地割としてどのような市街地像を残すことがいいのか、緊急の検討を要する。
他山の石となる事例。消費者教育の教材に使うと良い。
うまく規制誘導する方法を検討すべき。（用途地域変更、ダウンゾーニング、地区計画等）



日照を奪い合うドミノマンション

いいという人はいないのでは？プライバシーは守れているのでしょうか？

6 中山道浦和宿の総合評価

(交通：AABBBBBBBBBBCCCCCDD)【2.40】 (景観：ABBBBBCCCCCCCCCCCC)【1.70】

(活気：AAAAABBBBBBBBBBBBBB)【3.50】 (安全：AAABBBBBBBBBBBCCCC)【2.80】

(歴史：AAAABBBBBBBBBBBBCCCC)【3.10】 (総合：AABBBBBBBBBBBBCCCC)【2.70】

街がコンパクトでかつ回遊性があるので、歩いて楽しい居住地だと思いました。また神社等の自然も多く住んでみたい街でした。

浦和駅周辺の自然発生的に形成された商店街は魅力的です。それから続く裏門通りも落ち着いた商店街でした。

駅周辺から少し奥に入ると閑静な住宅街が広がっている。騒音もあまりなく住宅街では、安心・安全な生活が送れるような雰囲気がある。

浦和といえば、「埼玉県の中では1番」という噂を聞いてました。歩いてみると、文化・歴史の施設も多く、駅前広場や道路なども整備されていて歩きやすく、人気の高い街であることが実感できました。

大宮育ちであることもあり、浦和よりも大宮の方が発達していて良いイメージがあったが、浦和を歩いてみて、人の生活や歴史を感じることができておもしろいまちだと思った。今後、再開発が行われてまちの姿もいくらか変化すると思うが、歴史のある通りや人々の生活風景が十分に今後も活かされ、より良くなっていけばいいと思う。

浦和宿という感じはない。しかし、裏道ネットワークは充実しているようで、生活してみると楽しいと思う。レッズの盛り上がりの背景が少し解ったような気がした。

見沼田圃から浦和市街にと、全く別なまちを見たような気がしました。見沼田圃はまだ「群盲象をなせる」の状態なので、今度は自転車でも回ってみたいと思います。調整区域内に突然現れるクリーンセンターや国道沿道施設は印象的でした。

よそ者からみると、浦和は、沿線が違ってても似たような駅名がたくさんあり、非常にわかりにくいのですが、古い町であり、教育レベルも高く、奥の深さを感じた。

歴史があり、文化・教育に優れた住宅都市であるが、それらがまちの形に現れておらず、現状は中途半端な状況である。歴史文化資源を大切に、歩行者の安全や景観に配慮すれば、首都圏でも高位的な魅力的な街になるだろう。

たまたま、お祭りだったこともあり、活気があった。普段がどうかというところに疑問が残るが...

古いまち並みを新しい建物が覆いつくしてしまいそうなので、古い建物と調和の取れたまち並みの構築をしたほうがよい。

(交通)中山道の裏道が良い。(景観)残念ながら民有地に景観の取組が感じられない。(活気)小じれたお店が少し出てきたがマンション開発で商店街が切れる。(安全)歩道が狭い。(歴史)神社、仏閣は良く残っていて魅力あり。古い商店の活用に期待したい。(総合)歩いて楽しい街になる可能性を秘めていると思う。

(景観)公園や神社を通ったこともあるが、緑陰が多く印象は良かった。(活気)祭りの日に行ったことも有り、にぎわいが感じられた。(安全)歩道の整備は進んでいた。(歴史)旧中山道部で古い街並みがあまり感じられなかった。(総合)渾然一体として、まとまりが感じられなかった。(開発途中だから?)見沼の東縁や玉蔵院周辺で明確な歩車道分離がなされておらず、落ち着いて町の風景が見られないなどまだまだ、人がゆったり歩くための道としては整備すべき余地はある気がした。しかし、見沼田んぼの景観はいまや首都圏の宝石であるし、中山道沿いの地域に溶け込んだ歴史や活気は非常に魅力的で、逆にだからこそドミノマンションのような問題が顕在してしまうのだろう。

神社仏閣や、歴史的町並みは、豊富な緑による潤いと、文化的な香りを与え、数はすくないが、残したい貴重な資源であると思う。

なお、交通をDと評価した理由は、中山道の歩車分離がなされていないためである。

浦和は、幹線道路以外は、狭い道が多いにもかかわらず、最近では、マンションの立地が多く高密度化の傾向にある。(そうかと言って、まだ、ゴミゴミしているわけではない。)



さいたま市役所会議室での意見交換風景

浦和という街は、緑が多く、歴史や文化もある、質の高い住宅地を主体とした街といえるが、ドミノマンションなどの無秩序な開発によって、景観や市街地の質が落ちてきているように見える。活気がある一方、渋滞等交通環境が悪い。各個に歴史を感じる部分はあるが、全体として伝わる感じが無い。

浦和の東口と西口が地上で行き来できるようになると、東口も西口のような雰囲気になってしまうのではないかと心配です。商売の面では、人が多く訪れるのは良いことなのでしょうが、駅前はどこか片方が栄えていれば良いと思います。路地は防災上は危険かもしれませんが、魅力的なものが消えてしまうのは残念です。神社が駅の近くにあり、その周辺の落ち着いた雰囲気や昔ながらの商店街がとても気に入りました。大切にしていきたいものです。

旧宿場町としてどのような市街地像を形成していくのが望ましいのか、十分な検討が必要。

旧中山道沿いや調神社など予想以上に歴史的な建物が残っていることに驚きました。これら歴史的な魅力資源、更には、再開発等による新しい魅力の創出を回遊性等にも配慮して計画的に誘導していくことが重要と考えます。また、これらをうまく組み合わせて対外的にアピールしていくことが重要だと思います。

ドミノマンション問題が再び起こらないようにするためにはどうしたら良いと思いますか？

商業地域であることは問題だが、いずれにせよ用途地域だけの規制では不十分だと思う。地域の特性に応じた計画を定めることが必要だと思う。

現時点の法体系で解決できない以上「景観を守る」「住環境の保全」といった住民意識の向上に期待するしかないのでは。ドミノマンションに対する需要がなくなれば供給もなくなる。

難しい問題である。作る側、買う側のモラルは重要であると思う。

市場社会である以上購入者の責任も大きい。問題というより、隣接地に同等のマンションが建つ可能性があることの啓発が必要と思われる。

購入者の熟度を上げると共に、建設会社への指導を徹底していくべきだと思う。

窓先空地を広く取らせるしかないかな。自分が購入するマンションが与えた影響と同じ影響を、購入したマンションも受ける可能性があるのだということを啓発し続けるしかないのかな。ドミノマンションの建っていた街区は奥行きが深いようです。昔の農道だけが道路になったのでしょうか。この都市構造を変えないと厳しい印象を受けました。言うは易いのですが、では具体的はどうするのかという手詰まりです。

地区計画をかけるしかないと思う。

早急に制度を見直すのが一番ですが、まずは、日影でも低家賃で住むといったニーズももちろんあると思いますので、デベロッパーがドミノマンションの最後の地獄絵を建物の購入者の方に提示するようにする仕組みをつくるのがいいのではないのでしょうか。

用途地域を変更する

誰もが悪しき見本と認識するためにも対極となる良い事例をさいたま市内でつくる必要がある。

事前に周辺地域住民のまちづくり意識の啓発、醸成を行う。

事業主が悪い、消費者は賢くならなければいけない、用途地域を商業にしておく行政が悪い、といったことが問題なのではなく、需給バランスが取れているから起こっている問題、であることが問題。

ドミノマンションの有無を含め、その問題を関係者で議論する。

中高層の規制が、東京、横浜の規制と比較してどうなのか、知りたいと思った。高度斜線がないということが紹介されていたが、東京、横浜に比べて、明らかに規制がゆるいというのであれば、見直しの時期にきているのかもしれない。用途地域を変更するのは大変だ、ということならば、中高層の指導（駐車場の付置台数、窓先空地、避難経路の幅員...など）を厳しくしていく方向もあるかもしれない。

規制をかけて防ごうとするばかりでなく、建築する側のモラルや、住民の住環境を確保する意識形成が必要。

法律の規制と、住宅を購入する側が賢くなることが必要ではないのでしょうか。買う人がいて儲ければ建てるのは止められないと思うので。

建物高さや用途、容積、建坪率等都市計画規制の強化をすれば起こらないかもしれないが、ドミノマンションに喜んで住む人もいるかもしれない。

市の裁量で、都市計画的規制をしっかりかけるべき。

地域でどうするべきなのかを十分に議論したうえで、高さ制限などによる規制をかけるべき。実際に、上尾仲町愛宕地区では、高層マンションを否定して、中低層主体のまちづくりを実現させている。

市場の失敗の原因を踏まえて考えると、1階から全て住居のマンション開発しか成立しない過大な商業地域は、日影規制のある住居系用途地域に変更すること、不動産売買において、商業地域のマンション分譲は日照が保証されないことを重要事項説明で明記させること、住宅消費者教育の徹底、とい

うことになるのでしょうか。さらに言えば、 に加え上尾愛宕地区のような地区計画ダウンゾーニングがあります。圧倒的な高さ問題への対応については、都市計画としての高度地区の活用があると思います。

案１：住民にも理解しやすい絶対高さ制限（高度地区）と壁面後退で規制する。

案２：高容積でも最低限の住環境が確保されるように、街区ごとに沿道型中庭式の配置計画を定める。景観条例や、地区内土地利用を行う際にセットバックを行うように指導する。（出来れば）

地域住民を含めて今後地域をどう作っているかのコンセンサスを構築した上で、用途地域の変更、ダウンゾーニング、地区計画等の手法により規制誘導を図っていくべきだと思います。

中山道浦和宿の今後のまちづくりはどう進めていくと良いと思いますか？

文教都市浦和の魅力をしわさないため、落ち着いた街並みを維持し、歴史や文化に触れられる大人の街を目指すのが良いのでは。

浦和駅から調神社方面に向かっての電線地中化、歩道整備を早めに進め、各店舗の１Ｆ部分だけでも色使いなどポイントで統一すれば浦和宿としての景観・魅力は醸成できるが、駅前の再開発で大規模商業集積が進むため劇的に活性化が進むかは疑問。むしろ裏門通りなどの一本裏に入った路地を歩道化するなどして、安心して回遊できる歩行空間を実現したほうが都市としての魅力は増すのではないかな。

駅周辺整備は、街の機能や賑わいづくりのために必要である。一方、数少ない歴史の名残りや神社仏閣は、貴重な資源ととらえ、街並みにあった案内板や道路整備などを行っていけば奥行きが深くなると思う。

既に、商業ビルが立ち並んでいる状況でもあり、昔の宿場町を想像するには無理がある。数少ない蔵づくりの建物については、税の優遇措置などを適用して保存していくことも検討すべき。なお、今後改築等を行う場合には、宿場町としての景観を考慮した建造物となるような統一感ある建築物を望む。そのためには、地元関係者の景観に対する機運の高まりが必要であり、市も何かの誘導政策が必要である。現存する旧家屋を活かすまちづくりをしていけば良いと思います。

いい建物が残っているようです。祭りの活気に圧されて、その印象のほうが強く残りました。

他の宿場町との連携。安全に安心して歩くことができる環境整備。

マンションと沿道の点在する町家の共存といった絵になってくるとは思います。沿道部分のデザイン等を少し工夫すれば（川越のＦギャラリーのように）新しい建物と古い建物が連携し新しい街並みが形成できるのではないのでしょうか。

歴史的拠点を含めた回遊性のある交通環境を整備する

煎餅屋さんに戻ってきてもらいたい。和カフェギャラリーのような空間は現代人を惹きつける。暮らし博物館におさまるよりも、浦和宿で建物を保存し、利用されることが大事。

商業活動のあり方から議論を進める方法もあるのではないかな。

中山道浦和宿”に面した商店が、どのくらいがんばっていただけるか、にかかっているような気がする。現状は、お茶やさんはがんばっているが、他の商店のがんばりは、あんまり感じられなかった。

お茶屋さんのような「和む」雰囲気をまちづくりのテーマにしてみてもいいかなと思います。

今回浦和を歩いて初めて浦和が歴史と文化のある町と知りました。中山道浦和宿という歴史の賜でしょうから、歴史をアピールし、横浜や千葉とは違った特色をもつ町づくりを進めてほしいです。浦和駅は東口と西口が行き来できるよう再開発されると聞きました。画期的だと思うので、その造りを最大限に活かしてほしいです。

浦和宿を感じられる建物や空間が殆どなかったが、浦和宿全盛期の地図を市民に配布したり、街道沿いに表示することで意識を高めることが必要だと思う。

市街地の目標像をしっかりと地元と行政でかためていくべき。

質の高い住宅都市という観点で、地域の環境の質を高めていくために、建築の形態規制、緑や公共空間の確保、歴史や文化の活用、生活利便施設としての商業集積のあり方などについて、地域での共通認識を創り上げることが重要。

歩いて楽しい街にすることだと思います。商業地域にマンション立地を認める時は少なくとも１階は店舗、業務系とするよう規制誘導し、まちの賑わいを切らせないようにすべきです。また、残された歴史資源は最大限活用すること、特に楽風のようなお店がたくさん生まれるよう官民で支援することだと思います。

意欲ある人たち（カフェのある茶舗など）の活動を行政が応援する。街並み整備や観光地化を急がず、地元住民がゆっくり楽しめる品格のある街を目指すのがいいだろう。

街並み探検を生かし、人の動線を意識してすすめていって欲しい。

歴史的な魅力資源、更には、再開発等による新しい魅力の創出を回遊性等にも配慮して計画的に誘導していくことが重要と考えます。その際の手法として公的な支援も有効だと思います。

その他、今回の企画に対する意見、感想等をご記入ください。

午前中は暑さが心配でしたが、程々の気温で乗り切れました。うなぎを食べられなかったのは残念でした。(佐々木康友)

知らないまちの姿が見えて勉強になりました。今後は季節を選びまち歩きを行った方がよいと思います。(小島義則)

まち歩きは、まちを知る上で重要なことであると思っています。今後も参加させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。(四方田裕至)

午前の部は歩く距離がちょっと長いと思います。(笠原晃)

見沼田圃と浦和市街地は別のまちです。それぞれをじっくり見ることもできたのかな。と思います。印象が混乱してしまいました。(小林正樹)

今回の企画で見沼田圃の奥深さを感じることができた。(歴史もあり、地形的な面白さもあり・・・)

今後もまた、見沼田圃散歩の第2弾、第3弾企画があれば是非とも参加したいと感じた。(行広謙三)

最後にプレゼンテーション頂いた、素晴らしい調査の次の展開に期待しています。市街地環境の再生をしていく際の主要なアクターである居住者の方々との街歩き企画、参加出来るような機会があれば是非参りたいです。古里さん、土屋さん、等々ご案内頂いた方々ありがとうございました。充実した楽しい企画でした。(井出幸人)

途中参加で見沼田圃に行けず残念だった(千川明)

朝から歩きハードでしたが、欲を言えば、浦和の住宅地をもっと見たかった。ありがとうございました。(脇野真澄)

都合により午前だけの参加でしたが、心身共に良い運動でした。関係所の皆様ご苦労様でした。そして、有難うございました。(矢作武信)

地元詳しい方が次々と説明してくださり、浦和への理解が深まった。説明やいただいた地図・資料もわかりやすかった。ありがとうございました。(水谷晴子)

初めて参加しましたが、とても楽しく歩くことが出来ました。ただ歩くだけでは気付かないような部分を解説していただいたうえ、皆さんの意見も伺うことができ、とても勉強になりました。(古澤智子)

市役所の方々と古里さんに多くの労力をかけていただき、充実した企画を有り難うございました。東京、神奈川、千葉は住んだことがあるのですが埼玉県とは縁がなく、埼玉といえば大宮駅周辺と彩の国さいたま芸術劇場、tekutekuの川越くらいしか行ったことがありませんでした。川口と浦和の区別がよくつかないような有り様でしたが、今回浦和の町を楽しく歩き、さいたま市への意識が変わりました。素人なので、上記の3つの課題についても参考になるような意見が言えませんが、さいたま市の大規模な再開発、ぜひ成功させてください。(矢口晴美)

浦和を歩いたのは初めてで、楽しかった。次回を期待しています。(梶川義実)

大変有意義でした。有難うございました。(加藤仁美)

午前は見沼田圃を歩き、午後は浦和宿の街を歩くという、非常に盛りだくさんの内容で、浦和という街を複合的な視点から理解できるという、素晴らしい企画だったと思います。街歩き後のディスカッションの場も用意していただき、とても充実していました。コーディネーターの皆さん、ありがとうございました。(栗原徹)

初めてこのような活動に参加したが、今まで知らなかったことも多く、まちの魅力を知ることが出来ておもしろかった。(針谷郁美)

午前中の歩きが、少々堪えた。企画に協力したさいたま市若手職員の熱意に頭が下がった。(櫛間嘉徳)

午前中の田園風景、午後の宿場風景と、自然・歴史から成り立つ浦和の街を楽しめました。浦和駅周辺は、来街者の多い繁華街というよりも地元住民が主体の商店街で、好感が持てました。浦和は自然・歴史・文化の香り高い品格のある居住地であると再認識しました。古里さん、皆さん、ありがとうございました。(大竹亮)

コーディネーターからのコメント

今回はお忙しい中、またお暑い中、さいたま市にお越しいただきありがとうございました。当日は、非常につたない説明で参加者の皆さんに十分にさいたま市の魅力を知っていただけたか、もっと準備に時間をかけるべきだったか、自宅に帰ってから反省することしきりでした。それでも生まれも育ちも生粋の浦和っ子としては参加者の皆さんからいただいた浦和地区のお褒めの言葉が面映く、地域に対する自分の視点が自虐的呪縛から若干解き放たれた観もいたしました。お時間が許せばまた別の機会に当市にお越しいただき、おいしいうなぎなども召し上がっていただきたいと思います。(森山)

まち歩きはそこに住む人々の生活風景も含めて、普段気づくことのなかったまちの表情を知ることができる良い機会だと改めて実感しました。同時に、今回参加された方々の興味や関心、知識の深さに大変刺激を受けました。私も多くのまちを歩いて仕事を行っていきたいと思います。どうもありがとうございました。

た。(針谷)

暑い中、大変お疲れ様でした。見沼田圃の説明をさせていただきましたが、冒頭に画一的な話をしただけで終わってしまい、もっと印象に残る話し方をすべきであったかと反省しております。さいたま市では、国の全国都市再生モデル調査やまちづくり交付金を始めとした、様々な制度を活用した都市再生に取り組んでおり、ご意見等は今後の業務の参考になるものと思っております。また、これを機会に本市に興味をもていただき、今ルート以外でもご訪問いただければ幸いです。ありがとうございました。(田中)

ご参加の皆様お疲れ様でした。肉体的にハード(特に午前中)なスケジュールを企画してしまい申し訳ございませんでした。無事に終了して正直ほっとしています。今回の反省も踏まえまして、来年の2月か3月には「岩槻区」の企画をさせていただきたいと思いますので、その節には是非ご参加下さい。(土屋)

午前の見沼田圃は本来、季節の良い時期に1日コースで楽しむべきところでしたので、御案内が駆け足になってしまいました。午後の浦和宿はちょうど浦和祭りのため中山道沿はあまりご覧いただけず裏側の道沿いを御案内することになりましたが、意外に好評だったのでほっとしました。やはりドミノマンションは議論を呼び、示唆に富む多くのご意見をいただき感謝です。わがまちを御案内する企画は外の方の新鮮な意見をいただけること、自分にとっても再発見があることなど大変意味があるなと感じました。(古里)